

受付番号※	※	※	※	※
	-	11		1

## 平成 23 年度 私立大学戦略的研究基盤形成支援事業 研究テーマ調書

法人番号	法人名	大学名		
341006	広島女学院	広島女学院大学		
研究観点	研究プロジェクト名			
大学の特色を活かした研究	障がい者のための高等教育支援開発研究			
テーマ番号	研究テーマ名			
1	障がい者のための高等教育支援開発研究			
研究テーマの主体となる研究組織	研究代表者			研究テーマに係る研究者数
	所属	職名	氏名	
総合学生支援センター／障がい学生高等教育支援研究所	文学部	教授	山下京子	6名
1 研究テーマの概要				
①研究分野				
<p>本研究は、個々の学生のニーズに応じた教育機会を提供するという視点に立ち、視覚・聴覚・発達に障がいのある学生に焦点を当て、定型発達の学生とともに学ぶことのできる大学教育のあり方を検討する。すなわち、障がいのある学生を特別なニーズを持つ学生として理解し、個々のニーズに対応した支援を行いながら、高等専門教育を行うという、高等教育における特別支援教育の開発である。本研究は、大学教育のユニバーサル・デザインを構築することを目的とし、障がい者の理解について心理学を基盤にし、大学内の物理的環境について建築学の分野からモデルを提案し、教育内容については、教養教育として外国語教育、専門教育として文学と人文地理学を取り上げ、言語学、英文学、地理学の分野が連携しカリキュラム開発を行うという、複合領域的アプローチを行うことを特徴とする。</p>				
②研究内容				
<p>研究内容は、次の4つに大別される。①特別なニーズを持つ学生の特性理解に関する研究：山下(2010, 2009)や、実際の支援事例(山下, 2007, 2006)を参考にし、発達障がいの学生が大学で学習する上で関連のある事柄、特に衝動統制、注意、時間空間感覚と認知、視覚情報と聴覚情報による認知の差について取り上げ、心理学的実験を行い、定型発達の学生との差異を検討する。聴覚障がいの学生については、本学において支援した事例があり、事例をもとに、より適切な支援のあり方を検討する。視覚障がいの学生については、これまで支援した経験がないため、国内における支援事例を収集し、支援のあり方を検討する。②学生の特別なニーズに対応する学内環境のあり方の研究：学内環境は、そこで学ぶ者にとって快適な空間であることが望まれるが、定型発達の学生にとっては問題にならないことが、障がいのある学生にとっては障壁になることがあると考えられる。小林(2010, 2008)、小林ら(2009)による住環境に関する研究を発展させ、学生が長時間過ごす学内環境を、『住まい』の観点から見直し、快適な空間のあり方を検討する。③教養教育と専門教育における教材、教授法、カリキュラムの開発：教養教育の中で、語学を取り上げ、障がいのある学生の語学教育を支援するための、教材、教授法、教育環境の開発を行う。語学教育の教材開発については、山本(2009, 2006)や、田中(2011, 2010, 2009)の研究成果が参考になると考えられる。専門教育としては、文学と地理学を取り上げ、教材開発、教授法の工夫、教養から専門教育へのカリキュラム編成について、障がいのある学生のニーズに対応したモデルを検討する。文学は森(2009, 2007)を、地理学は木本(2011, 2010, 2009, 2008)を参考にする。④入学から卒業までの支援と社会への参画に関する研究：障がいのある学生の入学から卒業までを継続して支援し、自己理解を深め、セルフ・アドボカシー・スキル(自己権利擁護)を習得させることを目標とする。さらに、精神障がい者のための個別就労支援プログラム(IPS)を参考に、卒業後の社会参画について検討する。</p>				
③期待される成果又はその公表計画				
<p>本研究の実施により、障がいのある学生の支援モデルを提出するだけでなく、障がいのある学生も、定型発達の学生も『共に生きる』大学教育のあり方を示すことになると期待される。教育のユニバーサル・デザインは、全ての学生にとって有益なことが証明されるだろう。本研究の成果は、研究に関わる者が、国内外で行われるそれぞれの専門分野の学会等で発表する予定であり、同時に地域社会へ向けて公表される。すなわち、地域に存在する全ての学校や教育施設、福祉施設、公的機関、民間企業等である。本研究成果を地域社会の人々と共有したいと考えている。</p>				
④学内の生命倫理に関する審査体制・審査結果(生命科学のみ)				

・ 本紙1枚にまとめてください。

※印欄は文部科学省で使用するため記入しないでください。

大学名	研究テーマ名
広島女学院大学	障がい者のための高等教育支援開発研究

受付番号※	※	※	※	※
	-	11		1

## 2 年度別の具体的な研究内容

平成23年度	①特別なニーズを持つ学生の特性に関する研究、②学生の特別なニーズに対応する学内環境のあり方の研究、③教養教育と専門教育における教材、教授法、カリキュラムの開発について、実施する。①では、在学中の発達障がいの学生に焦点を当て、これまで支援を行ってきた学生だけではなく、特別なニーズを持つ学生が全学的にどの程度在籍しているかの実態調査を行い、全体像を把握する。また、発達障がいの特性を明らかにするために、定型発達の学生を統制群として、衝動統制、注意、時間空間感覚等に関する心理学的実験を行い、比較検討する。視覚障がいの学生のための支援事例を収集し、支援のあり方を検討する。②では、学内における学生の動線調査を行い、障がい者にとって障壁となると想定される学内環境の問題点を追究する。③では、平成24年度導入予定の、音声認識システム、文字判読音声化システム導入を前提にした、教材、教授法、カリキュラムの開発を行う。特に、語学教育において、各種システムの導入による教育方法の検討を行う。また、教授法の工夫については、初年次教育におけるオリエンテーションのあり方も含めて検討する。
平成24年度	①特別なニーズを持つ学生の特性に関する研究、③教養教育と専門教育における教材、教授法、カリキュラムの開発、④入学から卒業までの支援と社会への参画に関する研究を実施する。①では、障がいの種類や程度による特性の違いを明らかにするために、面接、調査、心理検査、心理学的実験を行う。これらの結果を踏まえ、個人の支援計画を立てる。③では、各種システムを利用しながら、語学教育を中心に、障がい者のための教養教育・専門教育のあり方を検討する。また、教養教育から専門教育への移行にあたって、個別にカリキュラムを立てるといふ、個別支援プログラムを展開させる。④では、障がいのある学生が自己理解を深め、自分の障がいを認知するとともに、セルフ・アドボカシー・スキル(自己権利擁護)を身につけることができるように、カウンセリングを実施し、その効果を検討する。さらに、卒業後の社会参画を視野に入れたキャリア・カウンセリングも実施する。アメリカで開発された個別就労支援プログラム(IPS)を参考にして、視覚・聴覚・発達に障がいのある学生にも適用できるプログラムを検討する。
平成25年度	①特別なニーズを持つ学生の特性に関する研究、②学生の特別なニーズに対応する学内環境のあり方の研究、③教養教育と専門教育における教材、教授法、カリキュラムの開発、④入学から卒業までの支援と社会への参画に関する研究のすべてを実施する。それぞれの研究で明らかになったことや問題点を集約し、大学教育におけるユニバーサル・デザインのモデルを構築する。中でも中心となるのは、③の教材、教授法、カリキュラムの開発であると予想される。本研究では、語学(英語)、英文学、地理学を取り上げているが、大学の教養教育・専門教育の内容に対応できるように、本研究で明らかになったことが他の教育内容に応用可能であるかどうかを検討する。また、④の卒業後の社会参画への見直しに加えて、リカレント教育のあり方についても検討する。
平成26年度	
平成27年度	

※印欄は文部科学省で使用するため記入しないでください。

大学名	研究テーマ名
広島女学院大学	障がい者のための高等教育支援開発研究

受付番号※	※	※	※	※
	-	11		1

## 3 研究施設、装置、設備の年次計画(年度ごとの整備計画)

平成23年度	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 総合学生支援センターとなる現・光風館建物の改造(様式Ⅱ-1, 2-4)</li> <li>2. 教育支援システム設備(同上)</li> <li>3. 改造された建物内のサーバー室への設備工事(空調設備、無停電装置の設置、認証装置)(同上)</li> <li>4. 高速配線工事(同上)</li> <li>5. 無線LAN設備の設置(ソフィア2号館、人文館)(同上)</li> <li>6. Multi point Control Unitの設置(様式Ⅱ-1, 2-9)</li> <li>7. 図書館無人出口装置の設置(様式Ⅱ-1, 2-4)</li> </ol>
平成24年度	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 音声認識装置の設置(様式Ⅱ-1, 2-7)</li> <li>2. 文字認識装置の設置(様式Ⅱ-1, 2-8)</li> <li>3. PC(30台)、液晶プラズマテレビの設置(様式Ⅱ-1, 2-9)</li> </ol>
平成25年度	

※印欄は文部科学省で使用するため記入しないでください。